

株式会社ヤエス

成長分野型

試作開発＋設備投資

安全性と操作性の高い入浴ユニットの開発

介護職員の待遇改善は、社会保障審議会でもテーマとなっている喫緊の課題である。弊社は、平成3年に特殊入浴装置を開発して以来、全国1500カ所の高齢者施設等に導入・保守を実施している。その実績を生かし、さらに安全で介護職員の負担を軽減できる入浴ユニットを開発した。

Q 取組の背景

Background of efforts

入浴は、人の尊厳にもかかわる重要な営みである。高齢や障がい等が理由で、介助なくして入浴できない人にとっては、その自由度や安全性は、人生における主要な課題と言っても過言ではないものである。

弊社は、平成3年に特殊入浴装置を開発した。これは、要介護者を車椅子に乗せたまま入浴してもらう装置であり、主に大規模な介護施設等で導入されている。快適性や安全性はもちろん、介護職員の体力的な負担軽減の点からも評価をいただいている。しかし、導入には本格的な設備工事が必要であるため、小規模な介護事業者向けに多様な入浴ニーズに対応できていたとは言い難い状況があり、手軽に導入できる入浴ユニットの開発が望まれていた。

事業の実施内容

Implementation content

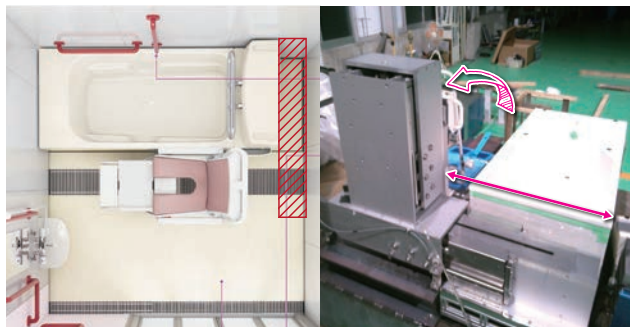
弊社が培ってきた特殊入浴装置に関するノウハウを生かして、今回開発する入浴ユニットには、次のようなコンセプトを立てた。

- 1)安全であること
- 2)省スペースであること
- 3)メンテナンスが容易であること

1)は、車椅子の昇降に水圧式の採用を検討する。油圧式は、油漏れによる浴室でのスリップ事故等の危険につながる可能性が高い。また、浴室内は湿度が高く、電源部分に水がかかるリスクもある。そのようなリスクを排除できる設計を検討する。

2)省スペース化は、今回の開発のカギである。入浴ユニットのメンテナンスに必要なスペースがデッドスペースとなっている。ここに着目をし、入浴ユニットをスライド式にすることを検討し、省スペース化を図る。

3)は、入浴ユニットのバッテリー化が大きく貢献するものと考えた。



【図1】他社ユニット。
赤い囲みの部分がデッドスペース

【図2】当社ユニット試作機3号機。
入浴ユニットをスライド方式とし、
デッドスペースをなくした

事業の成果

Achievement

1. 安全性の担保を実現できた。

①車椅子入浴時の動力を油圧シリンダー方式ではなく「水圧シリンダー方式」を採用することにより、油漏れによるスリップ事故を未然に防ぐことができた。

②浴室内に電線を這わせることなく、電源コンセントも設けなくて良い方法として、バッテリー方式を採用し、入浴ユニットに一体化させる開発を行った。浴室内で電気を使用した場合、機械不良の原因となる場合や感電の危険が考えられるからである。要介護者と介護職員双方に安心して入浴していただける開発点と言える。

2. 入浴ユニットをスライド化することで、省スペース化の要望に応えることができた。

入浴ユニットのスライド方式の開発により、省スペース化を図ることができた。特に、東京や大阪の介護施設からのスペースの効率化についての要望が多くそれに応えられたものと思われる。(図1、2を参照)

3. メンテナンスが容易にできるようになった。

入浴ユニットをスライド化したことで、メンテナンスを正面から行えるようになり、狭い空間で工具を取り扱う必要がなくなり、メンテナンスが容易になった。

COMPANY PROFILE



株式会社ヤエス

所在地

〒769-0103
香川県高松市国分寺町福家甲605-1

TEL

087-874-5839

設立

1986年4月

代表者

藤井 智子

業種

福祉関連機器の製造販売

従業員数

86名

URL

http://www.yaesu.org

事業内容

特殊入浴装置の開発・製造・販売
オーダーメイド足湯槽製造・販売
病院・福祉施設用設備機器販売
福祉用具貸与・販売



【図3】特殊入浴装置「ハートフル」

今後の展望

Future prospects

今後は、生産体制の構築と、販促活動に傾注する。また、使用を通して得られるユーザーの声を丁寧に取り上げ、改良を重ねる。

販売に関しては、車椅子入浴リフト＋バスタブの製造販売を行っている競合他社もあるが、本事業における開発において、車椅子の昇降を水圧シリンダー方式とし、これは、弊社だけの強みである。クリーンな環境で入浴介助を提供できるため、施設等へ有効な提案ができるものと考えられる。

また、車椅子入浴時の姿勢でリクライニング角度は110°である。これによって、腹圧がかかりにくく、リラックスして入浴していただける。競合他社の角度は100°であるため、この点においても優位性があると考えられる。

トピックス



▲リフト付き個浴「らくら」

本製品は、「らくら」と名付け、販売活動を展開しています。「らくら」には、楽な姿勢で入浴を楽しんでほしい、自立支援の観点から、手すりを活用し、入浴リハビリを行いたい、安全性を高めて、安心して入浴を楽しんでいただきたいという願いを込めています。

身体状況に応じて、自力入浴(またぎ動作が安定している方)、座位入浴(またぎ動作が不安定な方)、車椅子入浴(立位保持が困難な方)と、ご希望の姿勢で入浴することもできます。これまで、入浴が困難であった方に、「らくら」でのんびりとお風呂を楽しんでいただけることを願っています。

(開発責任者：藤川 浩之)



代表取締役 藤井 智子

要介護者と介護職員の方に、入浴の安全性と快適性をお届けいたします。

弊社は、昭和61年の設立以来、一貫して介護にかかわる事業を行っています。平成3年には特殊入浴装置「Heartful(ハートフル)」を開発し、およそ全国1500カ所の施設に導入し、メンテナンスを行っています。車椅子に乗ったまま入浴いただく装置で、主に大規模な介護施設さま等に納入させていただき、要介護者や介護職員の方から評価をいただいております。

このたびの事業で開発した入浴ユニットは、「Heartful(ハートフル)」のような大掛かりな設置工事が不要であり、いわゆる家庭用のユニットバスを据え付ける感覚で導入いただけます。小規模な事業者さま、場合によってはご家庭にも設置をご検討いただけることで、より多くの方に入浴の安全性と快適性を提供できるものと考えております。